

レプトスピラ症の発生動向【沖縄県：2021年】

2023年7月11日現在

感染症発生動向調査において、2021年^{*}に診断され、届出されたレプトスピラ症の情報を還元します。

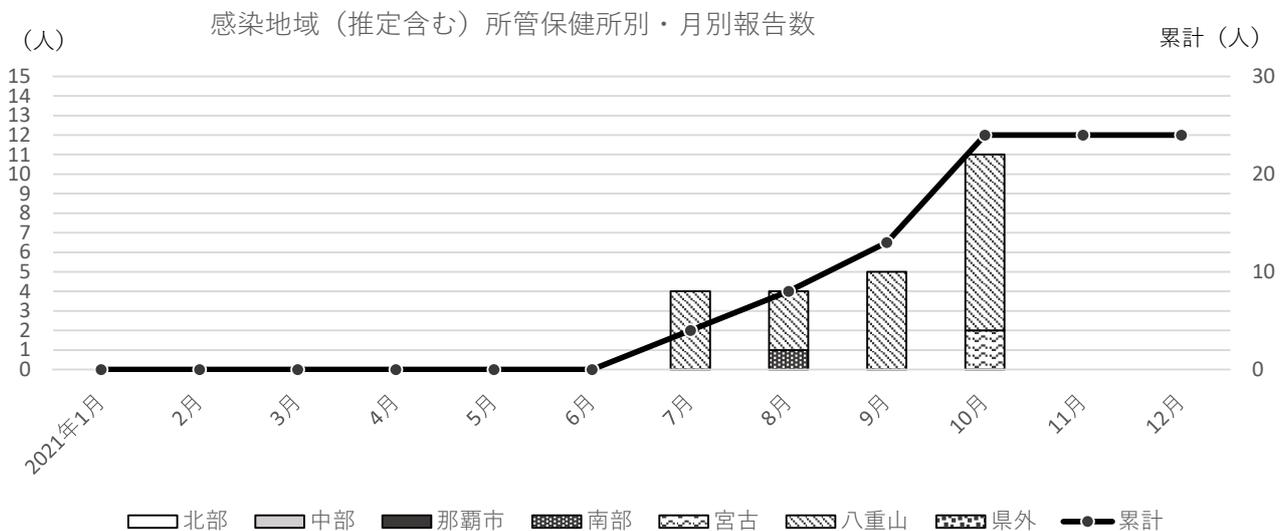
※疫学週によります。具体的な集計対象期間は下表のとおりで、診断日を基に集計しました。

所属年	集計対象期間
2021年	2021年1月4日 ~ 2022年1月2日

(1) 感染地域（推定含む）所管保健所別・発生（診断）月別届出数

沖縄県における2021年のレプトスピラ症の届出数は24人で、7月から10月にかけて発生がありました。

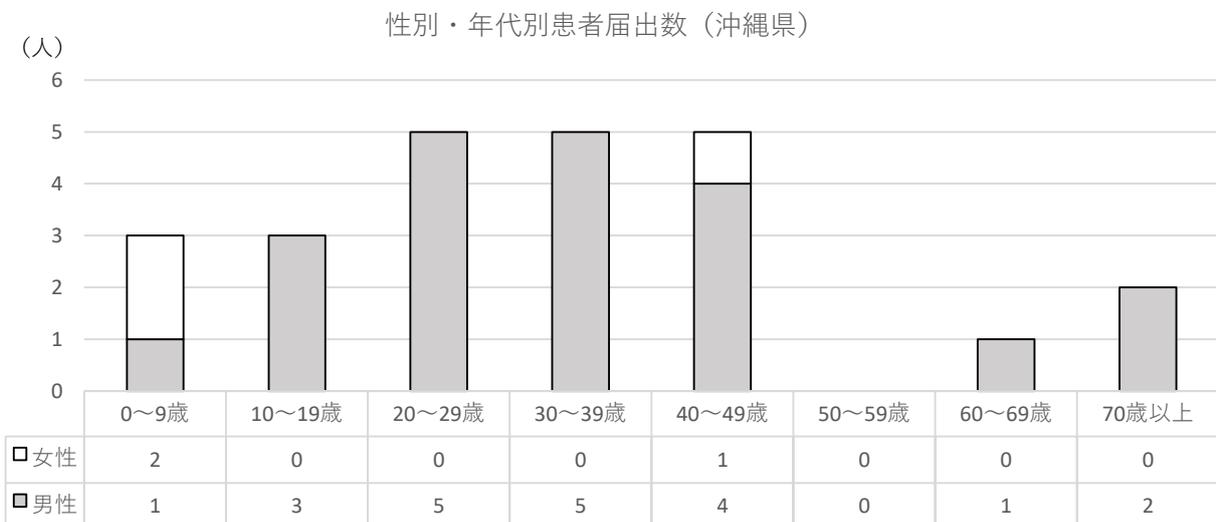
感染地域所管保健所別では八重山が21人と最も多く、宮古が2人、南部が1人と続きました。



(2) 性別・年代別届出数

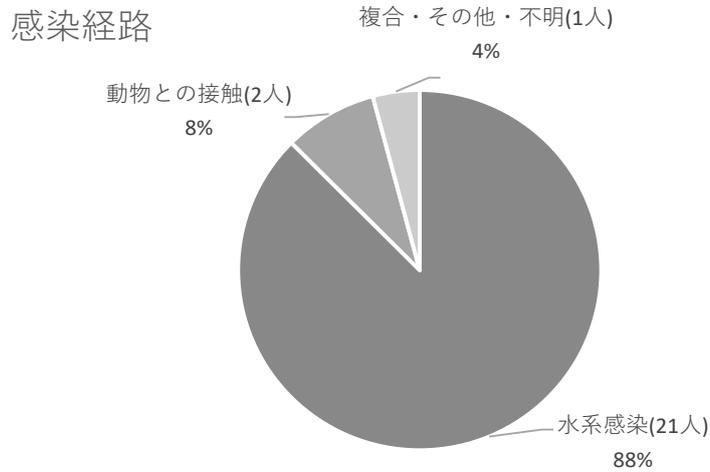
届出された24人中、男性は21人(87.5%)、女性は3人(12.5%)でした。

50歳未満が多く、21人と全体の88%を占めていました。



(3) 感染経路 (推定含む)

水系感染が21人 (88%)、動物との接触が2人 (8%)、複合・その他・不明が1人 (4%) でした。



(4) 症状ありの割合

発熱 (100%) が最も高く、筋肉痛 (79%)、結膜充血 (71%)、腎不全 (46%)、蛋白尿 (42%)、黄疸 (17%)、出血症状 (4%) と続きました。

その他の症状としては頭痛、下痢などの記載がありました。

